

## 1. 今年度事業の経緯

里山フィールドで 2006 年(平成 18 年)より続けている里山保全活動を今年度も継続して行い、その場でプレーパーク事業「里山ガーデン子どもの冒険ひろば」の開催や子ども対象の活動を継続して行った。また春のサクラまつりやオープンガーデン等の花と緑を通じた地域交流事業により、地域の住民や子どもたちに里山や身近な環境や科学に対する意識の向上を図ることを目的として事業を行ってきた。新型コロナの感染が 2021 年度内でも収まらず屋内活動については難しい面も見られた。里山外では林田川での取り組みや子ども食堂の事業も実施できた。当法人内の部門となる姫ヶ丘緑の会の助成事業である里山の駐車場等の芝生化により姫ヶ丘里山パークの公園としての整備と事業を花緑中間支援を活用して継続して進めることができた。また講師謝金補助や他団体との協働事業である森の秘密基地づくり・田植えイベントも継続実施した。

研究所の事務所として使用していた家屋についてはコロナで屋外活動ができなくなったこともあり 2021 年 4 月より里山ガーデン休憩所に移転し、屋外を中心とした活動を行った。手柄山のフタエカスミザクラが手柄ザクラとして新園芸品種として認定されたこともあり、桜の活動についても継続して行っている。

## 2. 事業内容

定款に掲げる特定非営利活動事業を中心とし、2021 年 4 月～2022 年 3 月の間に活動を行った。

事業は、①里山の保全活動(手柄ザクラを含む桜プロジェクト) ②里山ガーデン子どもの冒険ひろば ③子ども食堂 ④姫ヶ丘里山パークを中心とした花緑活動 ⑤大学生・高校生との連携教育活動支援 ⑥揖保川プロジェクトの実施 ⑦その他支援活動。

### 1 里山の環境保全活動(2006 年開始)

毎月 1 回の定例のプレーパークに連携して里山整備を行った。里山整備の参加人数は 1 回あたり 2-3 名。

川の活動として 2014 年から協力を行っている身近な水環境の全国一斉調査を 6 月に須加院川及び林田川・揖保川にて実施した。里川をフィールドとして保全活動を実施しました。桜プロジェクトの一環で手柄ザクラの新淵源品種認定。

### 2 里山ガーデン冒険ひろば

兵庫県青少年本部の補助金により実施(1 件の補助 2014 年度より継続)

プレーリーダー配置のイベント型プレーパークは原則毎月第 3 日曜日 13 時～16 時開催。プレーリーダー配置なしで常時開催となっている。

「自分の責任で自由に遊ぶ」をコンセプトに、プレーリーダーのサポートのもと、子どもたちは里山での遊びを通じた自然体験を満喫。兵庫県青少年本部の補助金を活用したプログラムでは原則月 1 回プレーリーダーを配置してプログラムや冒険広場のエリア整備と自由プレーパークを実施。今年度はメインのプレーリーダーを中心にして、学生団体とともに企画運営を行いました。但し、学生プレーリーダーの参加は

昨年度に続きコロナで中止となり、連携活動は縮小継続となった。

小学校等への予定表チラシは香呂南小学校・砥堀小学校・豊富小中学校への配布を実施。

里山の豊富な資材と十分な広さにより、心身ともに解放される子どもが多くみられた。イベントプレーパークのみならず普段から子ども達が遊びにくる場となっている。

新型コロナウイルス感染拡大により、多くのイベントが中止になった状況ではあったが屋外活動のためか、影響はほとんど受けなかった。

プレーリーダー配置のプログラムは 37 回、参加人数のべ 742 名と例年の参加者数を維持している(学生主催のイベントは中止)。常時開催の参加人数は未集計であるが総計 2000 名以上あると思われる。幼児・小学生だけでなく中学生の訪問も見られ。中学生はサバイバルゲーム等を行って BB 弾を発射するなどしている。

体制としてメインプレーリーダー 1 名、プレーリーダー 2 名程度、随時協力するプレーリーダーの体制で実施。また城見が丘保育園園児の訪問や近隣の児童の訪問があった。また、散策で訪れる個人・団体も見られた。

また 10 月 26 日-28 日の 3 日間、加古川南高校の生徒をインターンシップという枠組みで 10 名受け入れた。

6 月 6 日にはホテルの観察会を実施した。

冒険広場の報告書及び年間活動実績は別添

#### ④子ども食堂の開催

たつの市神岡町東鶯崎の里山カフェで月1回の定例で開いている。親子のコミュニケーションの深まりや地域の交流を目指した活動である。コロナの関係で一部中止、主としてお弁当のテイクアウト形式で実施した。

#### ⑤ サイエンス・カフェ

コロナによる屋内での飲食を伴う活動自粛により今年度は中止

#### ⑥ 地域交流活動

花や緑を通じた地域交流活動

2021年4月3日「さくら・つつじ祭り」、2021年5月21-23日「オープン・ガーデン」を実施した。コロナの影響もありで参加者は例年より減少傾向が見られた。さくら・つつじまつりではコンサートを実施した。学生活動においても花緑中間支援による小学生との交流を企画したが、コロナのまん延防止等により中止となった。高校生インターシップによるバタフライガーデンづくりについては実施できた。

手柄桜を通じた手柄地区連合自治会の活動支援も一定程度成果を上げた。

#### ⑦大学等との連携活動

兵庫県立大学環境人間学部のフィールドワーク(尾崎教授)は昨年につき Web で環境生物学実験(大橋教授)は中止となった。香呂南小学校の自然学校、城見ヶ丘保育園、兵庫県立加古川南高等学校のフィールド活動支援等を行った。

#### ⑧ 揖保川プロジェクト

コロナの関係で8月7日、林田川での川のプレーパークをイベントとして実施。イベント実施のための事前の草刈り等も行った。

#### ⑨ その他

里山サバイバルクラブとの共同で6月19日の田植えイベントと11月13日、14日の2日間森のひみつ基地づくりを行った。

#### ■委託事業 兵庫県中播磨県民センターよりの委託事業

委託事業：環境学習に関わる他団体の講師派遣事業を兵庫県中播磨県民センターより受託し、花期の事業に対して補助を行った。

1. 令和3年 9月12日(日) バッタを捕まえて、食べよう!
2. 令和3年 9月24日(金) コットン糸を紡ごう
3. 令和3年10月28日(金) 花緑と蝶を楽しむ バタフライガーデン
4. 令和4年 1月16日(火) 増位山の植物観察会

### 3. 事業の成果

1. これまで同様、里山の保全活動を行うことにより、里山の環境が保たれ、遊具の修繕により子どもも安全に遊ぶことができました。また、保全活動を定期的に行うことによって、地域の方の参加を得ることに繋がった。里山だけでなく里川の再生を目指す林田川プロジェクト(揖保川プロジェクト)を継続できた。これまでの継続もあって理事長が地域環境保全功労者環境大臣表彰を受けた。
2. 環境学習では中播磨県民センターからの事業委託を受け、環境セミナーを行う団体の支援の活動が行われた。また学生に学ぶ場を提供し、社会での活動や学習体験の一助となった。
3. 花緑の活動では姫ヶ丘緑の会と姫が丘里山パークの芝生化整備と一体となった里山整備を行うことができた。桜プロジェクトの成果の一つとして手柄ザクラの新園芸品種として認定された。
4. 大学との連携では学生のコロナの関係で活動は不十分であったが学生の活動自体は再開された。
5. 冒険広場では常設のメリットから普段から子供たちが自然に訪れ、遊ぶ姿が見られるようになった。

### 4. 事業活動の問題点と解決策

事務を担当する事務局長不在が長期に渡り継続し、理事長への負担軽減が解消されていない。

多くの事業が新型コロナウイルスの感染拡大防止を受けたが、今後は落ち着いていくと見込んでいる。参加費を頂く事業については今後は里山企画の事業として設定するなどして、NPOの直接事業から徐々に切り離していく必要がある。子ども食堂についてもNPOとしては支援のスタンスで進めるが支援の主体は里山企画となる。里山整備事業は参加者が少なく、広報の人的余裕もないため今後も対応を検討していく必要がある。